

# コロナ県内12人感染

## 警察官新たに4人

県は二十日、福井市、大野市、敦賀市、若狭町の十人、四十代の男女計十二人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。うち四人は警察官。感染確認は二十四日連続。累計は七百五十三人になった。

そのうち、十人程度の集まりをきっかけに十八日までされた一連の感染系統では、新たに同居家族や知人は、新たに4人

感染者	県内の新型コロナウイルス感染状況(20日)
総人數	753(+12)
うち変異株	116(+36)
直近1週間	88(+6)
福井市	326(+6)
坂井市	90(0)
越前市	49(0)
鯖江市	48(0)
大野市	20(+1)
あわら市	17(0)
勝山市	2(0)
敦賀市	81(+2)
小浜市	30(0)
越前町	15(0)
永平寺町	12(0)
南越前町	4(0)
池田町	1(0)
高浜町	16(0)
若狭町	15(+3)
おおい町	9(0)
美浜町	1(0)
県外	17(0)
死亡	31(0)
重症	1(-1)
軽症ほか	110(+10)
宿泊療養施設	0(-2)
県外入院	0(0)
退院	611(+5)
病床占有率	41.9%
ICU占有率	4.2%

は、新たに同居家族や知人は、新たに4人

## 県警原子力施設警備隊所属 計80人、クラスターか

県警は二十日、原子力施設

設備隊に所属する男性警察官四人が、新たに新型コロナウイルスに感染したと発表した。同隊の警察官は八人となり、厚生労働省が自安とする一方所

で五人以上の感染が確認さ

れたため、クラスター(感染者集団)が発生したとみられる。

県警や県によると、四人は敦賀市と若狭町の二十一

三十六の警察官。いずれも

十九日に感染が発表された三十代男性巡査長の濃厚接触者。四人のうち二人はこの男性と同じ施設で勤務しておらず、一人は自宅で会食の機会があった。四人のうち二人はこの連の感染でこれまでに計百十九人を検査し、百十

一人は陰性だった。新たに接觸者ら二十七人を検査す

る。

(草下佳鈴)

1月11日まで臨時休校する。  
福井市の二十代男性会員は大阪府に実家があり、十二月十五日まで帰省していた。同市の二十代男性会員は発症前に九州地方で陽性が確認された知人と県内で会食していた。

## 厚労省感染「クラスター」

社員は発症前に九州地方で十二月十五日まで帰省していた。同市の二十代男性会員は大阪府に実家があり、十二月十五日まで帰省していた。同市の二十代男性会員は発症前に九州地方で

新たに10人

宴会出席の半数以上

厚生労働省は二十日、新

型コロナウイルスに感染し

た職員が新たに十人判明し

たと公表した。二月末時点

で老健局に所属していた感

染者は計二十七人に増え、

厚労省は、調査している国

立感染症研究所が「クラス

タ」(感染者集団)と言つ

て差し支えない」との見解

を示したと明らかにした。

新たに判明者のうち五人

確認は計百十六人。四月以来の感染者計百十四人のうち86.0%の九十八人が変

異株に感染していた。(本田英實、堂下佳鈴)

厚生労働省は二月、新型コロナウイルスに感染した職員が新たに十人判明し

たと公表した。二月末時点

で老健局に所属していた感

染者は計二十七人に増え、

厚労省が呼び掛けた

複数あり、宴会との因果関

係特定は困難とした。

厚労省が呼び掛けた

自主的なPCR検査などに

導き、調査を行っている。

ウイルスの局内侵入者が三

月中旬以降とみられるの

は、最初の感染判明が四月

上旬だったことや、この宴

会に参加、不参加だった人

の両方が感染していたこと

が理由という。同省は共用

部屋の消毒を改めて徹底す

る。

厚生労働省は二月、新たに四

月度で、厚生労働省によると、重

症者は前日から三十一人増

えて七百六十九人となっ

た。

過去の感染者を京都と福

岡がそれぞれ一人取り下

げた。

国内での確認

国内で二十日、新たに四

千三百四十二人の新型コロ

ナウイルス感染者が確認さ

れた。大阪千五百十三人、

東京七百十一人、兵庫四百

二十七人など。和歌山は五

十五人、佐賀は三十八人で

それれ最多を更新した。

死者は大阪八人、千葉と兵

庫で各七人など計四十五人

だ。

厚生労働省によると、重

症者は前日から三十一人増

えて七百六十九人となっ

た。

過去の感染者を京都と福

岡がそれぞれ一人取り下

げた。

過去の感染者を京都と福